

## 議題 「子供の試合中の態度について」 2013.4.30

今回は、子供の試合中における“態度”について話し合いました。

フェアプレーに徹することは当たり前です。その上で“どのように振る舞うか”が、今回の論点でした。

「子供達には、どのような態度を身につけてもらいたいですか!?!」

「理想は、スポーツマンとしての態度、毅然とした態度や冷静な態度などを身につけてあげたいですね。」

「正々堂々と清々しい態度でプレーして欲しいですね！」

「初めから全員が、そのように完璧に振る舞えるのでしょうか。まだ、難しい子もいるのではないですか!?!」

「子供は一人一人、成長するスピードが違います。身につけている感性・能力も違います。当然、性格も十人十色です。」

「初めから正々堂々と行動できる子もいます。スポーツマンとして当たり前の行動ですが、このことは、子供にとってはまだ難しいことだと思います。」

「コート上で伝えればいいのでしょうか。それが、なぜ、難しいのでしょうか!?!」

「子供は結果に左右されやすいからです。過程を大切にすることは頭ではわかっているけど、実践の中で行動することは大変難しいと思います。」

「その部分は、大人でもなかなか難しいですよ。子供のみではなく、大人も含めて、私たちの永遠の課題じゃないでしょうか!?!」

「初めからできる人などいない、ということですね。そして、できない事をできるようにしていくことこそが“育成”であり、その取り組みが、私たちコーチに課せられたテーマとなりますね。」

「子供達には普段からコート上で“スポーツマンシップ”の素晴らしさについて、伝え続けていきましょう！」

「そうですね！私は、Jr.TEAMにて“スポーツマンシップ”に関する勉強会を開きたいと思います！」

できない事をできるようにしていく取組みとは、「できない」ことを「ダメなこと」と捉えるのではなく、「できない」ことをまず「認める」という前提があります。それは「一人一人の個性を認める」ことへとつながります。そして、そこから一歩ずつできるようにしていくという感性で子供たち一人一人を育てていこうと思いました。

私たちは、これからも子供たち一人一人を信じていきたいと思いました。